

第八回新宿区地域公共交通会議

議 事 要 旨

日時：平成 22 年 7 月 8 日（木） 10:00～11:40

場所：新宿区役所 6 階 第二委員会室

1 開会

2 会長並びに副会長の就任について

3 議題

- ・新宿駅周辺循環型バスの現在の状況と運行の見直しについて

4 委員からの主な意見・質問

○新宿駅周辺循環型バスの現在の状況について

- ・どのくらい乗車すれば採算ベースに乗るのか。
→採算ベースとしては、広告収入も含めた上で、900 人から 1,000 人程度と捉えている。
- ・各バス停の利用状況はどうなっているか。
→利用の比較的多いバス停は、都庁本庁舎、新宿駅西口、新宿ワシントンホテル前。比較的小さいバス停は、角筈二丁目、東通り、工学院大学前。
また、よく利用されている出発地と目的地は以下のとおり。
〔平日〕①都庁本庁舎→新宿駅西口、②新宿駅西口→新宿三丁目・レインボービレッジ前、
③新宿駅西口→新宿駅西口（一周）
〔休日〕①新宿ワシントンホテル前→新宿三丁目・レインボービレッジ前、
②新宿駅西口→新宿三丁目・レインボービレッジ前、
③新宿駅西口→歌舞伎町、新宿三丁目・レインボービレッジ前→新宿ワシントンホテル前
- ・沿線イベントとの連携の効果は出ているか。
→具体的な関連性は出しにくいですが、ある程度の乗車人員は確保できていると感じている。
- ・バス停留所のわかりにくさの理由は、バス停が目立たないのか、案内がわかりにくいのか。
→両面からの検討が必要。新宿の街の中で、バス停を目立たせるのは困難であり、事務局で検討している。また、位置については、新宿区のホームページで写真つきで案内するなどしている。今後はバス停の位置がわかる資料を作成し、広く配布するような工夫をしていきたい。
- ・商店街や地下鉄などの駅で、バス停の位置がわかるようにする必要があるのではないか。
→案内を工夫し、掲示についても各事業主、各駅、各店舗などにご協力をお願いしていきたい。

○休日のダイヤ改正について

- ・ダイヤ改正の実施日はどうなっているか。
→バス停の共用事業者との調整がつき次第改正したい。その見込みが概ね今週と考えている。
⇒休日の運行ダイヤの改正については、承認

○グループ割引の廃止について

- ・グループ割引の利用者は、予め制度を知って利用しているのか、乗務員が声をかけているのか。
→主に乗務員が、3 人以上のグループにご案内しているという報告を受けている。

- ・グループ割引を知っている人の比率が少ないのであれば、廃止も止むを得ないのではないかと。
⇒グループ割引の廃止については、承認

○運行ルートの変更について

- ・西から南口に抜けるバスは一つもないので、直線的に甲州街道から御苑のほうに行くほうが、左、左、左回りでスムーズに行くのではないかと。
→需要がどの程度あるのかを検討し、関係機関と調整したい。ただ、都庁の本庁舎前から西口へ行く方がかなりいるので、その方たちをどう取り込み、西口へ結びつけていくかが課題。
- ・角筈二丁目は、甲州街道を反対側に渡らなくてはならないので利用が少ない。
- ・西側エリアの方向を逆にする場合、バリアフリー対応や歩行者動線の観点も必要ではないかと。
例えば、都庁前は、バス停が庁舎の反対側になり、エレベーターも逆方向にない。
→利用見込みと併せ、周辺の施設状況についても十分ふまえた上で、検討したい。
- ・大型量販店を利用した人たちがかなり荷物を持っている。東口はバス停が未定なので、使いやすいつところにバス停を設置するよう検討してほしい。
→大型量販店を比較しながらグルグル回るといようなニーズが発生することが十分予測できるので、そういったことも踏まえ、東口バス停のあり方というものを考えていきたい。
- ・新ルートの所要時間は出しているか。
→ルートが延びた分、数分延びる可能性はあるが、現況と概ね同じ時間で走ることができると考える。甲州街道の左折が渋滞ポイントだが、そこをコントロールできれば。
- ・WEバスを使って一日新宿を楽しめるようなモデルコースを提案してみてもどうか。
→モデルコースの設定というものは、ユニークなアイデアだと思うので、ぜひ検討したい。
- ・乗降以外に、その後利用者がどのような行動をしたのかを把握しているか。
→OD調査に併せて最終的目的地もアンケートを取ったところ、以下の結果が得られた。
〔平日〕①都庁から西口まで…約半分が駅利用者
②西口から新宿三丁目・レインボービレッジ前まで…約半分が買物目的
③新宿駅西口から一周回る利用者…観光目的など
〔休日〕①ワシントンホテルから新宿三丁目・レインボービレッジ前まで…約6割が買物目的
②新宿西口から新宿三丁目・レインボービレッジ前まで…6割強（約65%）が買物目的
③新宿駅西口から歌舞伎町まで…約3割が飲食店での飲食目的
- ・距離が延びるため、経費も増えると思うが、収支のシミュレーションをどこまでやっているか。
→運行事業者とも協議し、このルートで今と同じようなサイクルで回せば、燃料費等は別としても、経費的には大きく変わらないだろうということで本日提示している。

○パーク&バスライドについて

- ・都庁だけでなく、東口エリアでの駐車場の確保も検討する必要があるのではないかと。
→東口エリアについては未検討だが、協力を仰げる駐車場があるか調べていきたい。
- ・提携店舗のサービス内容がバラバラなので、一律のほうが利用者としてはわかりやすい。
→提携店舗からもいろいろな意見が出ており、見直しについては提携店舗との相談が必要だが、わかりやすいシステムというのは大切なことだと思うので、これから検討していきたい。
- ・提携店舗の駐車場に車で直接行って買物した場合の駐車料金サービスと、WEバスを利用した場合のサービスは同じなのか、それとも違いはあるのか。
→店舗によって異なるが、東口の店舗については、30分程度長めに設定しているということは

ある。西口の店舗は、通常のサービス通り概ね運営している。

- ・パーク&バスライドはコンセプトとして進めているものであり、同じ料金でやるのではなく、違いを出していくほうが売りになるのではないか。
→今でもパーク&バスライド一日乗車券といったサービスをしているが、もっとわかりやすくできるか、パーク&バスライドの利用がプラスにつながるような検討を事業者としていきたい。

○会長・副会長からのコメント

- ・条件を満たすためのいろいろなアイデアが出た中で、効果があると考えられるもの。
 - ①来街者が乗ってみたいと思えるような、車体や停留所を目立たせるアピール。
 - ②乗ること自体を目的とした利用者を増やすという取り組み。
 - ③バスガイドによる案内なども、可能であれば実施すると効果があると考えられる。
 - ④親子連れが乗りやすくなるように、子ども割引をやってはどうか。
- ・体験乗車イベントというのはどういうものだったか。
→提案内容は、一周年記念などの節目に無料乗車券を配って体験乗車してもらおうというもの。
停車した車両に乗って、車体の乗り心地などを体験してもらおうのはイベントで実施済み。
- ・期間限定で半額や無料にするなど、まず一度乗ってリピーターになってもらうことも重要。
- ・地域の観光ボランティアがガイドとして乗るケースも全国にあるので、工夫することは可能。
- ・観光客が乗る循環地域バスは全国にあり、潜在需要が新宿は大変大きいところだと思う。
- ・駅での案内は重要。改札口付近の地図で今の自分の位置を確かめて、出口の判断をしている。地下鉄事業者に協力してもらい、地図の段階でわかりやすくするのが一番効果的。
- ・商店街とのタイアップで、バス停の位置や今いる場所はこのバス停が近いという案内。
- ・写真コンテストの結果などもうまくリンクさせた形でPRできるとよい。
- ・現在、利用客の多いところがあまり不便にならないように、何らかの工夫が必要。現状で利用されているところは、お客様を逃さないように十分検討すべき。
→このバスに慣れていない方を逃さないようなルートの考え方は重要だと考えている。
- ・東口エリアのバス停の検討では、もう少しバス停を多く、バス停の間隔を短くしてもよい。
→東口に関しては、100円で乗れるバスがあれば、歩いている方を拾っていける見通しはある。
適切な位置を十分に検討し、関係者の了解を得た上で、こまめなバス停の位置を考えたい。
- ・新宿三丁目・レイボーレレジ前の乗降が平日も休日も多いので、新たなところにバス停を設ける場合、告知をきちんと行う必要がある。

○次回の日程について

- ・本日提案した変更案をベースに、今後関係諸機関と協議調整し、次回、正式な変更案として提示する。